

夏季企画展

Juhachi-Shinwa Art Gallery Summer Exhibition

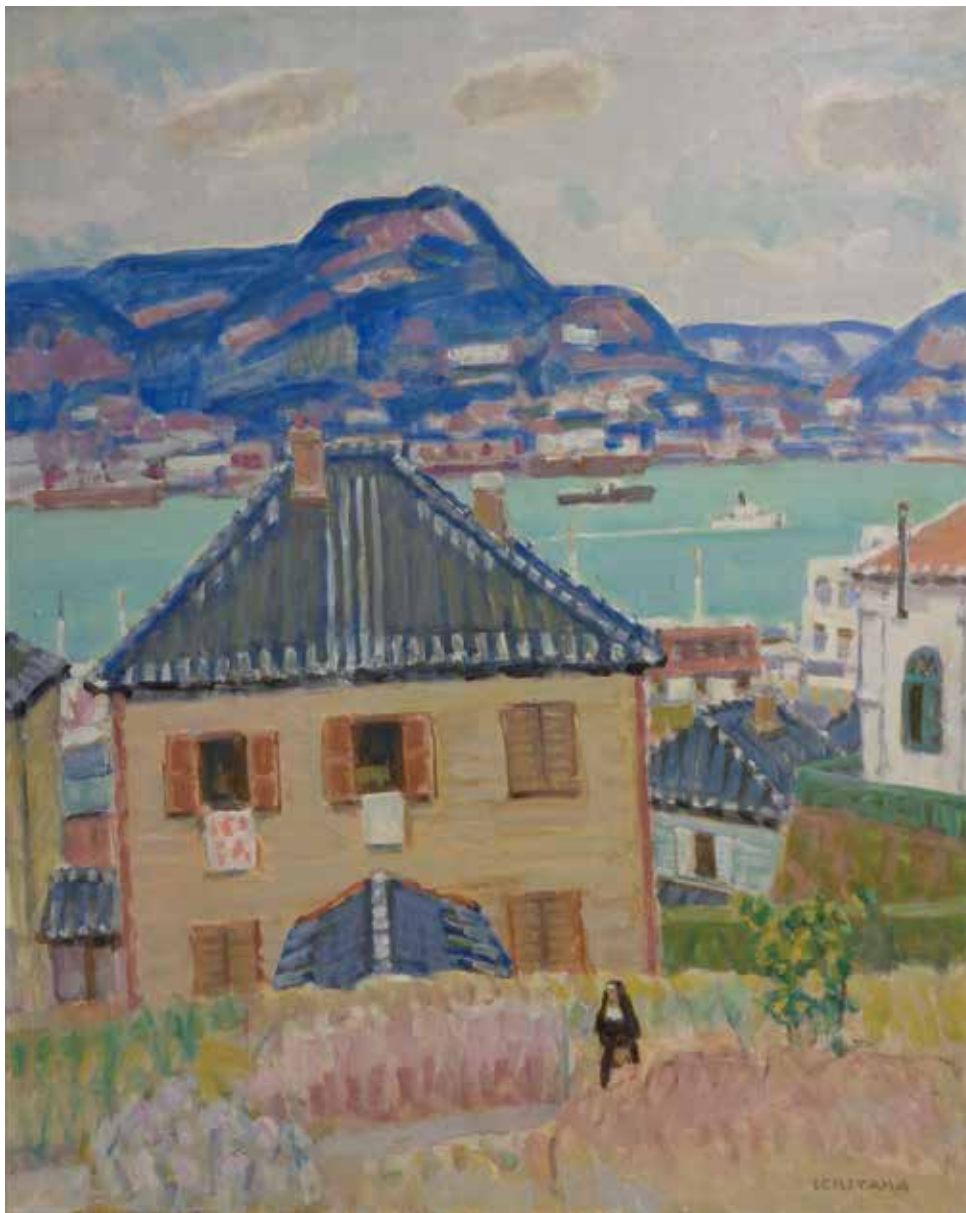
画家と街並み

市山時一郎没後30年

開催中

2024年
8.31
(土)

まで



市山 時一郎《長崎の港》1989年制作 油彩 F30号

多くの人を魅了してきた長崎の風物は、海外渡航が一般的でなかった時代から現代に至るまで画家たちにも愛され、その絵筆によって優れた作品が数多く生み出されてきました。今年、没後30年の節目となる郷土画家の市山時一郎もまた、長崎県下の風景を素描、水彩、油彩で幾度となく描いたひとりです。市山は佐世保市に生まれ、長崎師範学校（現、長崎大学教育学部）を卒業。長崎県北部を中心に美術教師として定年まで勤めた一方で、佐賀県鹿島市出身の納富進に師事し、日展や一水会展を中心に作品を発表し活躍しました。

当館が所蔵する市山作品は4点あり、このうち長崎を主題にした作品は《出津の聖堂》（1973年）と《長崎の港》（1989年）の2点です。後者は、高台から望む街並みと港のおだやかな日常を、明るくやわらかな色彩で丹念に描いています。現在、夏季企画展「画家と街並み」～市山時一郎没後30年～にて、本作を含む3点の市山作品を公開しています。

また、陶磁器展示室2に於いて、陶磁器小企画「現代陶工～多彩な表現」を10月26日（土）まで開催しているほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

市山 時一郎（いちやま・ときいちろう）：1911～1994。長崎県佐世保市生まれ。1950年第6回日展に初入選。温かみのある筆致で国内外の風景を数多く描いた。日展会友、一水会会員、長崎県展審査員・実行委員、サロンド・パリ会員、1986年紺綬褒章、1987年佐世保市文化功労賞受賞、サロンド・パリ展大賞ほか受賞歴多数。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

〔開館時間〕10：00～16：00（入館は15：30まで）

〔休館日〕日・月・祝日、年末年始（12/30～1/4）

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分